

プレスリリース 2008年5月2日

優れたドキュメンタリー番組の制作を評価！

## 東海テレビ・阿武野勝彦プロデューサー

### 放送人グランプリ2008

### グランプリを受賞!!

放送人の会が主催する「放送人グランプリ2008（第7回）」の今年の受賞者がこのほど発表され、東海テレビ 報道制作局専門局次長・阿武野勝彦プロデューサーがグランプリを受賞しました。

「放送人の会」は、NHK、民放、プロダクションの枠を超えて、かつて放送を創ってきた人たちと現在番組制作にたずさわっている人たちが、放送にまつわるさまざまな問題について情報交換し、世代、組織、ジャンル、地域を超えて活動している会。そして、「放送人グランプリ」は、1年間に放送界でもっとも顕著な活動をして業績を上げた個人・グループに贈られる賞です。

今回のグランプリ受賞は、阿武野プロデューサーが制作を担当した「約束～日本一のダムが奪うもの～」(2007年2月17日放送)、「裁判長のお弁当」(2007年4月14日放送)の2作品が、優れたドキュメンタリーとして高く評価されたためです。「約束～日本一のダムが奪うもの～」は、岐阜県揖斐川町の旧徳山村の村民が「徳山ダム」の建設によって大きな犠牲を強いられていく姿を克明に描いたドキュメンタリーで、07年地方の時代映像祭グランプリなどを受賞。「裁判長のお弁当」は、裁判所の中にカメラが入り、長期間の取材を行い、実際の裁判長の執務風景を通じて、現在の裁判所の制度、裁判官の抱える問題について描いたドキュメンタリーで、07年日本放送文化大賞に入賞しています。

#### <受賞者プロフィール>

阿武野勝彦（あぶの・かつひこ）・・・東海テレビ放送（報道制作局）プロデューサー。

1959年静岡県伊東市生まれ。同志社大卒。

#### \*主な作品\*

『はたらいてはたらいて』（92年文化庁芸術作品）

『村と戦争』（95年放送文化基金賞 ほか）

『とうちゃんはエジソン』（第41回ギャラクシー大賞 ほか）

『黒いダイヤ』（05年日本民間放送連盟賞）

『約束～日本一のダムが奪うもの～』（07年地方の時代映像祭グランプリ ほか）

『裁判長のお弁当』（07年日本放送文化大賞入賞）